

X2000 牙

取付け・取扱い説明書/保証書

この度は、自動車用盗難警報装置 牙（X2000）をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本書には取付け及び、取扱い手順が説明されております。正しくご使用いただく為に本書をよくお読みの上、ご使用ください。尚、読み終えた後いつでも見られるよう大切に保管してください。

⚠ 注意


本製品は、車体への衝撃などを感知し警告を行う装置です。車上ねらい、車輛盗難等への防犯効果は多大ですが、防止機ではありません。また、なんらかの手段で盗難警報装置を解除し車輛に被害を与える場合も想定されます。本製品の作動の有無にかかわらず車輛盗難、車上ねらい、車輛へのイタズラ等が発生し、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。


目次

●ご使用上の注意	2	●オプション（受信タイプ）へのID登録	18
●おもな特長	3	●リモコンの登録とオプション（送信タイプ）の登録	
●各部の名称	4・5	・メインユニットへのID登録	19
●取付け/接続方法	6・7	●振動センサーの調整	20
●リモコンについて	8	●人感センサーの調整	21
・アンサーバックについて	8	●その他の機能	
・リモコンご使用前に	8	・メインユニットの充電と充電ランプについて	22
・リモコン操作方法	8	・キャンセルタイマーについて	22
・リモコンの充電方法	9	・メインユニットLEDランプについて	22
・リモコン操作一覧	10	・セキュリティの強制スタート/ストップ	23
・電源の入れ方	11	●その他	
・待ち受け画面の説明	11	・12V専用シガープラグコードについて	24
・セキュリティのスタート/ストップ	12	・本製品の修理について	24
・圏内/圏外表示	12	・付属のステッカーについて	24
・モードの設定	13	●故障かな？と思ったら	25
・リモコン音の設定	13	●盗難保険について	26
・リモコン表示の設定	14	●仕様	27
・パニックアラーム機能	14	●さくいん	28
・履歴表示	14		
・エンジンスターターへのID登録	15		
・エンジンスターターのスタート/ストップ	16		
・ドアロック/アンロック	17		
●警報について			
・メインユニットの警報	18		
・リモコンの警報	18		

ご使用上の注意

ご使用の前に、この「ご使用上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。又、注意事項には危害や損害の大きさを明確にする為、誤った取り扱いをすると生じる恐れのある内容を「警告」・「注意」の2つに分けています。

 **警告** 警告を無視した取り扱いをすると、使用者が死亡や重傷を被る可能性があります。

 **注意** 注意を無視した取り扱いをすると、使用者が障害や物的損害を被る可能性があります。

警告

- 本製品を分解、改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- 運転中は、本製品を絶対に操作しないでください。わき見運転は、事故の原因となります。
- 本製品は、運転や視界の妨げにならず、車輛の機能（エアバック等）の妨げにならない場所に取付けてください。事故や怪我の原因となります。
- 本製品が万一破損・故障した場合は、すぐに使用を中止して販売店へ点検・修理を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電・車輛故障の原因となります。
- 本製品を水につけたり、水をかけたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 本製品を医療機器の近くで使用しないでください。電波により医療機器に影響を与える恐れがあります。
- 本製品を不用意に人や動物の近くで作動させないでください。聴覚障害になる恐れがあります。

注意

- 本製品にはお買い上げの日から1年間の保証がついています。（ただし、ヒューズ・電池等の消耗品は、保証の対象になりません）
- 万一、製品本体にロット番号シールがない場合は、商品をご使用になる前に弊社へご連絡ください。
- 保証書には、必ず「販売店名」「お買い上げ日」が記入されているか、記載の内容をご確認いただき、大切に保管してください。
- リモコンに電池を入れる時ネジに合ったプラスドライバーが必要になります。
- 12V車のみ使用可能です。24V車には使用できませんのでご注意ください。
- エンジンをOFFにしてもシガーライターソケットに常時電源が供給されてる車の場合、エンジン停止している時はシガーライターソケットから付属のシガーコードを抜いて下さい。バッテリー上がりの原因になります。又、本製品をスタートする前には付属のシガーコードを抜いて下さい。（シガープラグをシガーライターソケットに差し込んだ状態だとキャンセルタイマーが作動して動作しません。）
- ※シガーソケットの無い車や、エンジン停止してもシガーソケット電圧がOVにならない車はオプションSS-063「電源配線ユニット」を使用して車輛の配線に直接接続することができます。
- 指定の電池以外は使用しないでください。
- 本体やリモコンを直射日光が当たる場所に設置・放置しないで下さい。
- 本製品の取付けは、確実に固定してください。固定が不十分ですと誤作動の原因となります。
- 本取付け・取扱い説明書内のイラストは、製品と一部異なる場合があります。
- 本製品を修理・点検依頼された場合、修理期間中は別商品の貸出し（代替品）などのサービスは行っておりません。
- 本製品を修理・点検期間中又は故障などによる作動不良時における車輛盗難、車上狙い、車輛へのイタズラ等が発生しても、弊社では一切の責任は負いかねます。
- 本リモコンは防水加工されていません。雨、水等のかかる場所や濡れた手でのご操作は避けてください。又、リモコン内部に水分が侵入した場合、故障の原因となり修理不可となる事があります。
- 本製品メインユニットの充電はテスト分の充電がされています。製品の状態（自然放電等）によっては、初めて使用する時に充電容量不足で作動しない場合がありますので初めて使用する時は必ずメインユニットを充電して下さい。

おもな特長

●ドットマトリックス液晶表示リモコン

液晶（2色）のドットマトリックス表示により多彩な文字（日本語・英語）やイラストの表示が可能になりリモコン操作、警報内容がわかりやすくなりました。

●振動と人感のダブルセンサーで監視

車輻の衝撃を本体内蔵の振動センサーで監視し、車輻のドアを開けられ人の侵入を人感センサーで監視します。センサー別に本体スピーカーから警報を鳴らし、リモコンにお知らせします。

●2つから選べるセキュリティモード機能

環境によってスタンダード、シティモードの2つからリモコン操作でセキュリティのスタートが可能。
（例：シティモード・・・振動系のセンサーをOFFにしてドアオープンのみ警報します。）

●パニックアラーム機能

車に不審者を確認した時、リモコン操作によりアラーム音を鳴らす事ができます。

●特定省電力アンサーバックシステムリモコン

アンサーバック搭載システムリモコンがリアルタイムに車の異常を表示&アラームでお知らせします。車から離れても特定省電力リモコンなので大丈夫。※電波到達距離 直線見通し2500M、市街地は最大で500M（当社計測値）

●充電式リモコン

リモコンは充電式とし、付属の専用充電器（AC100V）で充電を行えば約7日間（無警報、連続監視状態）は充電不要。
※使用頻度、警報頻度によっては使用時間が短くなります。

●多彩なりモコン機能

リモコン操作により圏内、圏外表示やリモコン音を消音、アラーム、メロディなどの操作が可能。

●リモコンの追加可能

X2000のリモコンを全部で3個まで登録可能。

●高輝度LEDによる監視機能&警告機能

本製品が車輻監視状態の時、4個の高輝度LEDが点滅し不審者を威嚇します。又、センサーが感知すると高輝度LEDのフラッシュ点滅で警告を行います。

●BeTimeの操作が可能（BeTimeエンジンスターターが別途必要になります。現在の対応機種はBeTime A-73/74/75です。）

X2000のリモコンをBeTimeに登録することによりBeTimeの操作がX2000のリモコンで可能になります。

●スピーカーを本体内蔵

スタート/ストップ時又は警報時に本体内蔵スピーカーから警報を行ないます。

●盗難保険・1年間無償加入

本製品ご購入日から1年間有効の盗難保険に加入しています。（最高保証額¥100,000）

※保険対象品 ・タイヤ・ホイール・カーナビゲーションシステム・カーテレビ・カーオーディオ・レーダー探知機
・エンジンスターター・ETC本体

●履歴機能

停車中の車輻に異常が起きた時、警報の内容をリモコン（表示）で確認できます。

●エンジンスターター&ターボタイマー取付車対応

エンジンスターター&ターボタイマーの作動中は警報を行いません。

※車輻シガープラグに付属のシガーコードを配線した時のみ

●バッテリー内蔵本体ユニット

車内に侵入され電源コードを抜かれても内蔵バッテリーで動作しているので警報を行ない又、リモコンに異常をお知らせします。フル充電で約7日（無警報、連続監視状態）作動します。

※使用頻度、警報頻度によっては使用時間が短くなります。

●オプションで、車にあわせてシステムアップが可能

SS-060 追加センサー・・・振動センサーと人感センサーを追加して車輻の後部までセンサーの検出範囲を広げます。

SS-061 ワイヤレスランプセンサー・・・ドアオープン時、ランプ（ルームランプ、フットランプ等）が点灯した時にメインユニットに警報信号を送ります。

SS-062 ワイヤレスボイススピーカー・・・警報信号を検出してスピーカーから電子音、日本語、英語、中国語警報を行います。

SS-063 電源配線ユニット・・・シガー接続のできない車輻等に直接車輻配線から電源を接続できます。

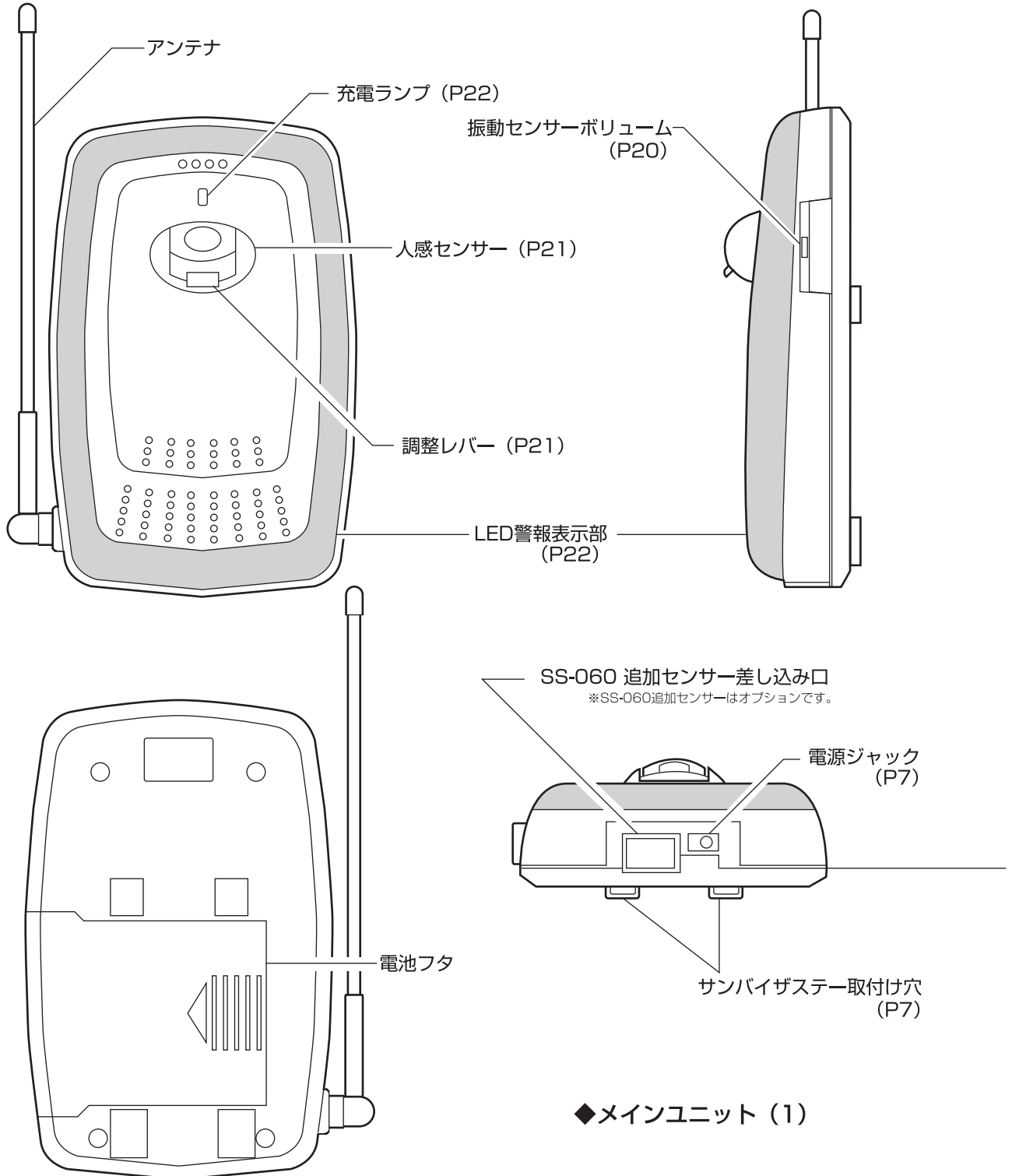
SS-064 車内用リモコン充電器・・・DC12Vのシガーライターソケットからリモコンを充電することができます。

SS-065 AC100V専用充電器・・・家庭用（AC100V）からメインユニットを充電することができます。

各部の名称

(セット内容)

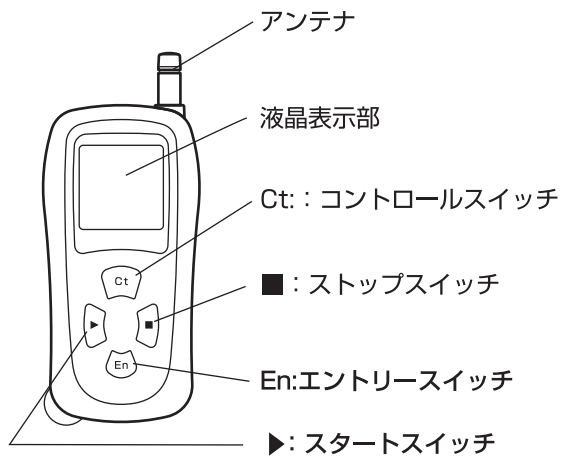
※ () 内はセット数量



注：取扱説明書内イラストと実際の商品は一部形状が異なる場合があります。

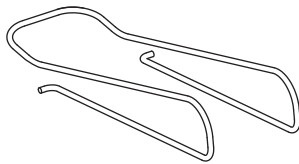
各部の名称

(セット内容)

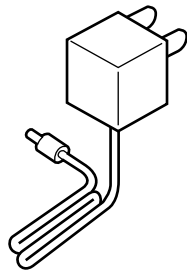


※リモコン操作一覧はP10を参照してください。

◆リモコン (1)



◆サンバイザーステー (1)

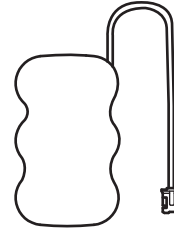


◆専用ACアダプター (1)

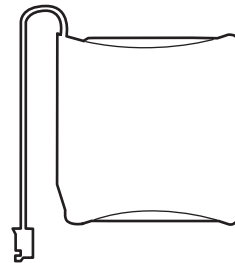


◆ステッカー (1シート)

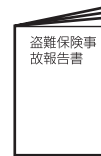
※車輛の窓ガラス等に貼ってください。



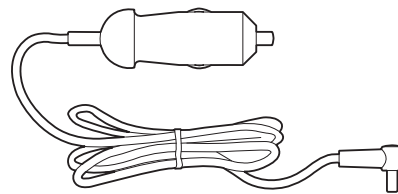
◆リモコン用電池 (1)



◆メインユニット用電池 (1)



◆盗難保険事故報告書 (1)



◆12V専用シガープラグコード (1)

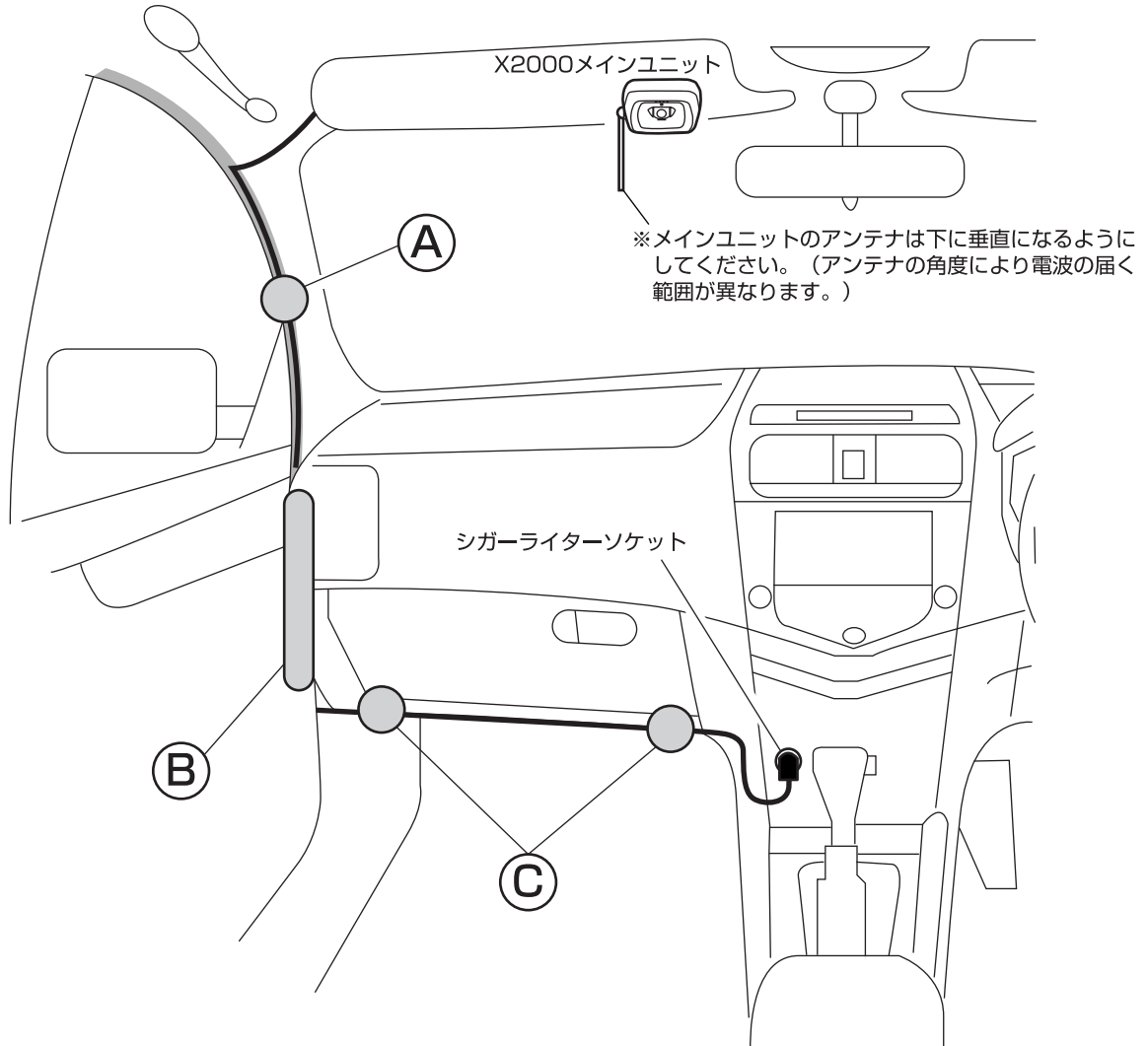


◆コードクランプ (3)

取付け/接続方法

◆取付け全体図

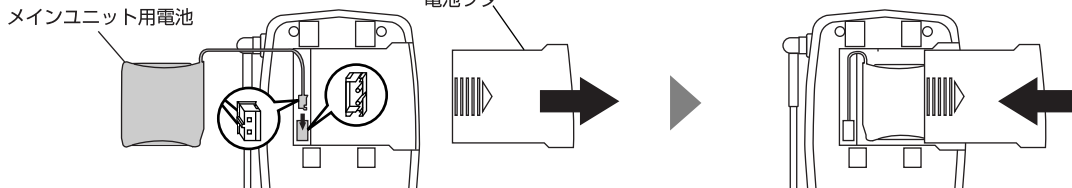
※シガーソケットの無い車や、エンジンを停止してもシガーソケット電圧が0Vにならない車はオプションSS-063「電源配線ユニット」を使用して車輛の配線に直接接続することができます。



1 メインユニットにメインユニット用電池を入れます。

メインユニット用電池

電池フタ



- ・電池フタを外しメインユニット用電池をケース内のコネクタに差し込みます。
- ・電池を差し込むとメインユニットから音が鳴ります。

- ・電池をケース内に入れ電池のコードをはさまないように電池フタを閉めます。

注意.コネクタには極性がありますのでコネクタの凹凸に合せて下さい。

2 サンバイザーステーをメインユニットに差し込みます。

サンバイザーステー取付け穴 サンバイザー

・サンバイザーステーを内側におさえながら4つのサンバイザーステー取付け穴に止まるまで入れます。

・サンバイザーステーを入れたらステーを放し固定します。

3 本体を助手席側サンバイザー全体図 (P6) の位置に取付け差し込みます。

サンバイザー

※メインユニットが落下しないように固定します。

4 12V専用シガープラグのジャック側をメインユニット電源ジャックに接続します。

電源ジャック

サンバイザー

12V専用シガープラグのジャック

5 12V専用シガープラグコードのプラグ側を車のシガーライターソケットに差し込みます。

12V専用シガープラグコード

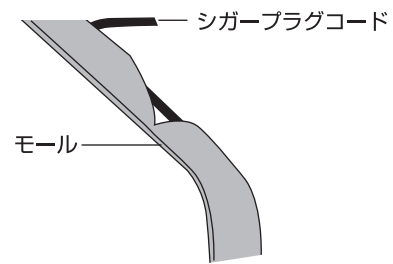
シガーライターソケット

※12V専用シガープラグコードを接触不良のないように奥まで入れます。

6 接続した12V専用シガープラグの配線を処理します。

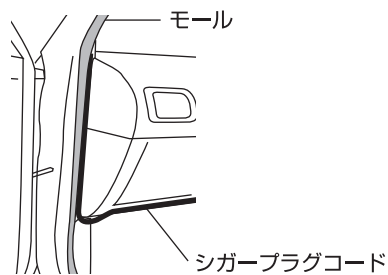
1.シガープラグコードをモールに収納します。

(取付け全体図) (A) (P6)



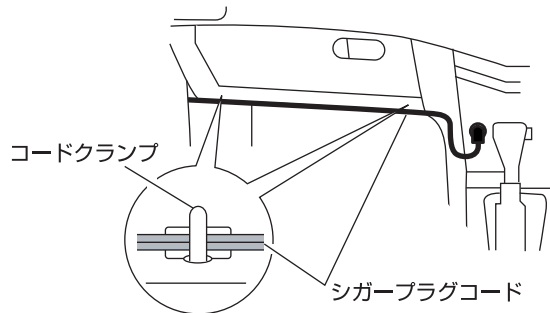
2.シガープラグコードを収納します。

(取付け全体図) (B) (P6)



3.シガープラグコードを付属のコードクランプで固定します。

(取付け全体図) (C) (P6)



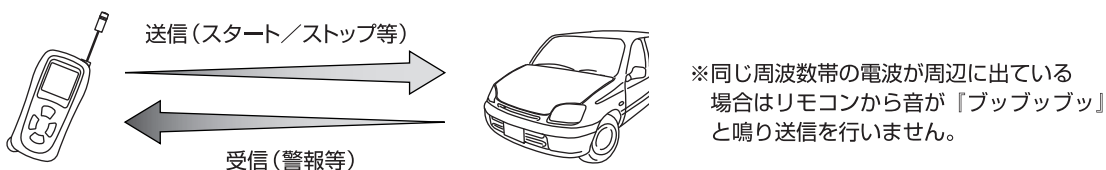
※取付完了後メインユニットを充電してID登録を行って下さい。P19を参照

リモコンについて

- ⚠注意**
- 本リモコンは防水加工されていません。雨、水等のかかる場所や濡れた手でのご操作は避けてください。又、リモコン内部に水分が浸入した場合、故障の原因となり修理不可となる事があります。
 - 本リモコンは充電式です。出荷時は充電済みの状態ですが、自然放電する場合があります。ご使用前に必ず充電を行ってください。
 - 本リモコンはアンサーバックタイプを採用し、お車の異常をリモコンでお知らせしますが、鞆や機の引出し中や金属の上等に置くと電波を受信できなくなる場合があります。
 - 当社エンジンスターター（Be Time）のリモコンと本リモコンを同時に使用しないでください。誤動作の原因となります。

◆アンサーバックについて

- 本製品は、リモコンとメインユニット間で互いに送受信を行い本機のスタート/ストップを始め、振動センサー、人感センサー、オプションセンサーの反応があった時、リモコンへお知らせします。



◆リモコンご使用前に

※リモコンを使用する前に必ずリモコンを充電（P9参照）してください。

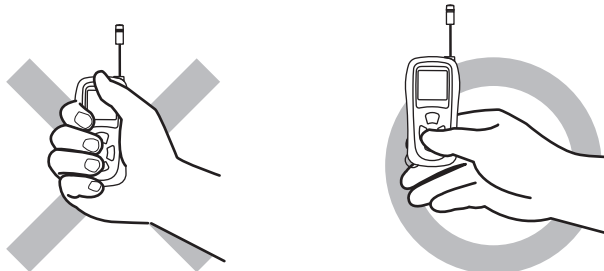
- 商品出荷時は電池の消耗を防ぐ為、電池を外して、リモコン電源OFFの状態です。ご使用時はリモコンに電池を入れ電源ON状態（P11）でご使用ください。又、長期間使用しない場合（車を使わない旅行等）は、電池の消耗を防ぐ為、リモコンの電池を外す事をお勧めします。

○充電電池の入れ方 ※リモコンに電池を入れた後、リモコンを使用する前に充電してからID登録（P19）を行ってください。

<p>1</p> <p>ドライバーでリモコンの裏フタのビスを回し外し裏フタを上（ビス側）から外します。</p> <p>ドライバー</p>	<p>3</p> <p>ツメ側から裏フタを入れてビスをドライバーで回し取付けて下さい。</p> <p>ビス</p> <p>ドライバー</p> <p>リモコン裏フタ</p> <p>ツメ側</p> <p>※リモコン裏フタをしめる（閉じる）時はリモコン電池の配線を裏フタに挟まないように注意してください。</p> <p>注.あまりビスを強くシメ過ぎるとケースが壊れますので注意してください。</p>
<p>2</p> <p>リモコン充電電池の2Pコネクターをリモコンの2Pコネクターに差し込みリモコン電池をリモコンに納めます。</p> <p>2Pコネクター</p> <p>リモコン電池</p> <p>注.2Pコネクターは極性がありますのでコネクターの凹凸に合わせて差し込んで下さい。</p>	

◆リモコン操作方法

- リモコンを操作する場合は、電波の送信性を安定させる為に必ずアンテナをのぼし、リモコンケースを手で包み込む事のないように操作してください。



リモコンについて

◆リモコンの充電方法

※充電中でもリモコン警報の受信はできます。

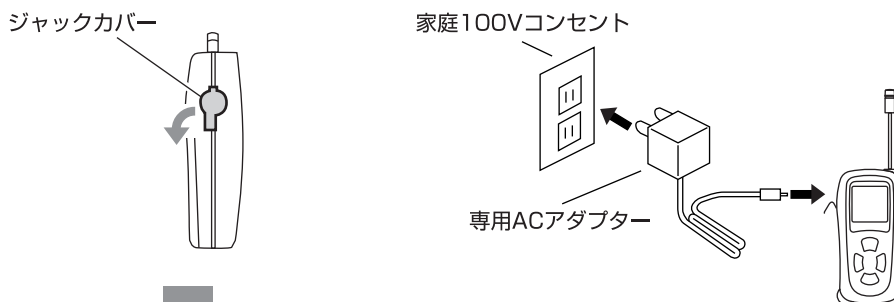
●充電について

- ・本製品はトリクル充電式です。満充電するのに電池残量が全くない状態から(めやす)約4時間かかります。
 - ・満充電後、更に充電を続けても問題はありますが、充電完了後はすみやかに専用ACアダプターをはずしてください。
 - ・充電完了後、再度充電を行っても残り電池残量にかかわらず約4時間は充電を行います。
 - ・リモコンの電池は約7日間(無警報、連続監視状態)使用できます。
- ※使用頻度、リモコンの警報回数等により短くなる場合があります。
- ・リモコンが充電状態でも、アンサーバック機能は働いています。アンテナを伸ばした状態で、本体からの電波が受信可能な場所で充電を行ってください。

○充電の方法 ※充電中セキュリティを動作させている時はアンテナを十分伸ばして充電してください。

◆リモコンの充電

- ・リモコンのジャックカバーを外し、ACアダプターをリモコンに差し込みます。
- ・専用ACアダプターをコンセントへ差し込みます。



◆充電を開始するとリモコンから電子音が鳴り表示部に"充電中"と表示されます。

◆充電が終了すると表示部に"充電完了"と表示されます。



- ・充電を開始してもすぐに文字の表示がしない時がありますが、異常ではありません。
- ・リモコンを4時間以上充電を行っても『充電完了』と表示されない場合があります。その場合はリモコンの充電残量表示で確認して下さい。
- ・リモコンの表示は表示の設定(P14)によって英語表示になります。

注意

- ・充電には必ず本製品の専用ACアダプターをご使用ください。
- ・セキュリティ作動中、リモコンの電池残量がなくなるとリモコンの電源がOFFになり警報を行ないません。リモコンの充電を行いリモコン電源をONにしてセキュリティを再度スタートさせリモコンにON表示(P11)をさせてください。
- ・充電は必ず家庭用電源(AC100V)で行ってください。
- ・充電中はリモコン操作をしないようにしてください。
- ・濡れた手で専用ACアダプターに触れないでください。
- ・充電中に異常(発煙・発火・異臭等)が発生した場合、ただちに電源を抜き、使用を中止してください。
- ・充電を行っていない時は専用ACアダプターをコンセントから抜いてください。

●電池交換について

- ・リモコン電池は、ニッケル水素電池を使用しています。充電を行っても作動しない等の状態が頻繁におこるようであれば電池の寿命が考えられます。お近くの商品取扱いの販売店でお買い求めの上、電池交換して下さい。
- ・また、交換した電池はリサイクル可能なニッケル水素電池ですので、販売店にお渡しください。ご不明な点がございましたら、弊社サービス部までお問い合わせ下さい。

リモコンについて

◆リモコンの操作一覧



◆リモコン操作一覧

操作内容		動作内容	詳細ページ
操作1	操作2		
En長押し		電源スイッチ ON/OFF	P11
En	▶	セキュリティスタート	P12
En	■	セキュリティストップ	P12
Ct	Ct	モードの設定	P13
▶長押し		リモコン音の設定	P13
■長押し		リモコン表示の設定	P14
Ct	En	パニックアラーム	P14
En	Ct	履歴表示	P14
Ct長押し		圏内/圏外表示・オプションID登録	P12・18
▶	▶	ドアロック (BeTime取付け時)	P17
■	■	ドアアンロック (BeTime取付け時)	P17
Ct	▶	エンジンスタータースタート (BeTime取付け時)	P16
Ct	■	エンジンスターターストップ (BeTime取付け時)	P16
En	En	リモコン ID登録 1 又はBeTimeID登録	P19
▶	■	追加リモコン ID登録2	P19
■	▶	追加リモコン ID登録3	P19

※操作1 を押し液晶表示されている間に操作2をおこなってください。
操作1 のボタンを押すとは始めに待ち受け画面 (P11) が表示されます。

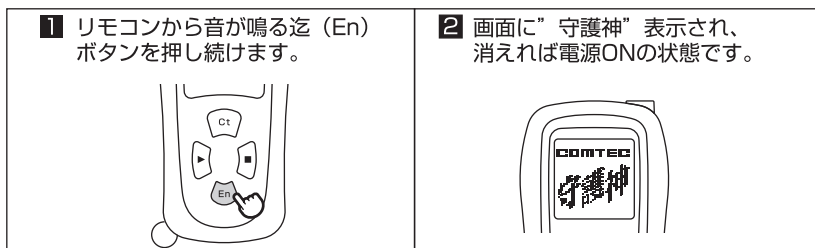
⚠ BeTimeにX2000のリモコンを登録する時は必ずID登録1で登録し、X2000のメインユニットにID登録2又は3で登録して下さい。

リモコンについて

◆電源の入れ方

※使用しない時は電源をOFFにすると内蔵電池が長く使用できます。

●リモコンの操作は電源を入れてから行います。



◇電源をOFFにするにはリモコンから音が鳴る迄 (En) ボタンを押し続けます。画面に” Bye ”表示され、消えれば電源OFFの状態です。

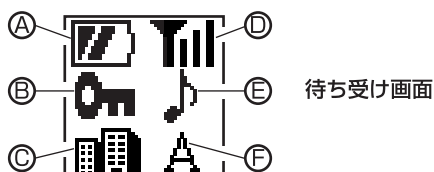
※使用しない時はリモコンの電源をOFFにしてください。又、長期リモコンを使用しない時はリモコンの電池を取りはずしてください。

※リモコン電源をOFFにするとリモコンの警報は鳴りません。

※リモコンの電池残量がなくなった場合、リモコンの電源は切れます。充電した後リモコンの電源を入れてください。

◆待ち受け画面の説明

●最初にボタンを押すと待ち受け画面が表示され現在のリモコンの設定が表示されます。



① 電池残量表示

リモコンの電池残量を表示します。

満充電です	電池残量に問題はありません	早めに充電をして下さい	充電して下さい すぐにリモコンが作動しなくなります。

⚠ 注意

電池残量表示は正確な物ではなく電池残量がばらつく場合がありますので目安としてお使いください。

② セキュリティ作動表示

現在セキュリティが作動しているか表示します。セキュリティが作動していると鍵のマーク が点灯しセキュリティが停止していると鍵のマークは消灯します。

点灯 セキュリティ 作動中	消灯 セキュリティ 停止中
-------------------------	-------------------------

⚠ 注意

リモコンにカギのマークが点灯 (待ち受け画面時) していないと、セキュリティが作動していても、リモコン警報は行いません。追加リモコンでスタートした場合もスタートさせたリモコンしかリモコン警報は行いません。リモコンに警報を鳴らしたい場合は必ず警報を鳴らしたいリモコンで再度作動させて下さい。

※リモコンに を表示させた状態でリモコンの電池がなくなった場合は充電して電源を入れても は消灯し、リモコン警報は行いません。再度警報を鳴らしたいリモコンでセキュリティをスタートさせてください。

③ モード表示 (P13)

何のモードでセキュリティを作動 (スタート) するかを表示します。
※現在作動しているモードではありません。

④ 圏内/圏外表示 (P12)

リモコンで操作することにより車から電波の届く範囲にリモコンがあるかを表示します。

⑤ リモコン音表示 (P13)

現在のリモコンアンサーバック音の設定を表示します。

⑥ リモコン文字表示 (P14)

現在のリモコン文字表示言語の設定を表示します。

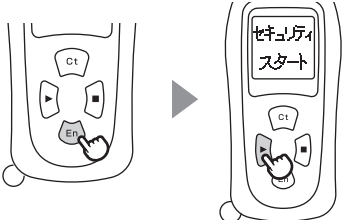

リモコンについて

◆セキュリティのスタート/ストップ

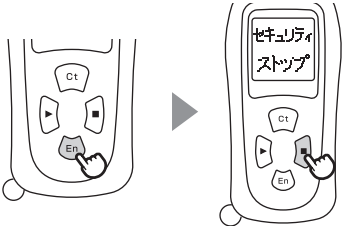

※車輛シガープラグの電圧が常時12Vの車輛はセキュリティをスタートする前にX2000を車輛シガープラグから抜いて下さい。

- 付属のリモコンでセキュリティのスタート/ストップを行います。
作動の確認をリモコンから文字と音で、メインユニットからはアラーム音でお知らせします。

○セキュリティのスタート ※リモコンのアンテナを伸ばした状態で操作してください

<p>1 リモコンの (En) ボタンを押し、待ち受け画面表示中に (▶) ボタンを押します。</p> 	<p>2 電波が届いてスタート (作動中) するとリモコン液晶表示が緑色で "OK!" と表示されます。電波が届かなかった場合は液晶表示が赤色で "NG!" と表示されます。</p> 
--	---

○セキュリティのストップ ※リモコンのアンテナを伸ばした状態で操作してください

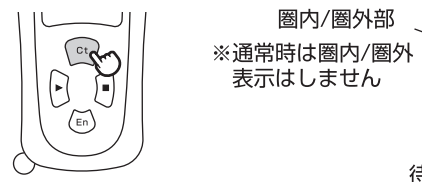


<p>1 リモコンの (En) ボタンを押し、待ち受け画面表示中に (■) ボタンを押します。</p> 	<p>2 電波が届いてストップ (停止) になるとリモコン液晶表示が緑色で "OK!" と表示されます。電波が届かなかった場合は液晶表示が赤色で "NG!" と表示されます。</p> 
---	---

- ※セキュリティをスタートした時、キャンセルタイマー作動中にもう一度セキュリティスタートの操作をするとキャンセルタイマー機能が解除されすぐにセキュリティが監視状態になります。
- ・リモコン音の設定で操作音アンサーバック音は違います。
- ・電波の状況によってセキュリティが作動してもリモコンに "OK!" と表示されないことがありますので、その時はもう一度リモコンでスタートさせてください。
- ・メインユニットのフラッシャーLEDが全部点灯している時は本体のIDが消失してしますのでID登録をして下さい。(P19)

◆圏内/圏外表示

※電波状況やリモコンの状態 (アンテナや電池残量など) によって同じ場所でも始めは電波が届いても届かなくなる可能性があります。

- リモコンの操作で車輛アンテナとリモコンの電波が届く範囲にあるか確認できます。

<p>1 リモコンの (Ct) ボタンを待ち受け画面表示内の圏内/圏外表示がするまで長押しします。</p>  <p>待ち受け画面表示</p>	<p>○圏内の場合</p>  <p>車のアンテナとリモコンの電波が届く範囲の場合左のイラストが表示されます。</p> <p>○圏外の場合</p>  <p>車のアンテナとリモコンの電波が届かない場合、左のイラストが表示されます。</p>
--	---

- ※始めは電波が届いたが電波状況や環境によって突然電波が届かなくなる場合があります。
- ・リモコン音の設定で圏内/圏外音は違います。
- ・リモコン操作してから電波で確認している為すぐには圏内/圏外表示はされません。
- ・メインユニットのバッテリーが充電不足の状態だと電波の届く範囲でも圏外表示がされます。メインユニットの充電を行って下さい。(P22参照)

リモコンについて

◆モードの設定

●車を止めた環境によってセンサーのON/OFFがリモコンの設定で簡単にできます。

○モード内容

モードの種類	待ち受け画面表示	車を止めた状況	作動するセンサー	メインユニットスピーカー警報
スタンダードモード		通常使用の時に	全てのセンサーON	検出したセンサーの警報を鳴らします
シティモード		車の交通量が多く振動など受けやすい時など	人感センサーのみON	検出したセンサーの警報を鳴らします

※リモコンの警報は作動しているセンサーが反応した場合、全て警報を行います。

○モード設定操作方法

1 リモコンの (Ct) ボタンを押し、待ち受け画面表示中にもう一度 (Ct) ボタンを押します。

2 操作 **1** をくり返すと表示が変わり設定したいモードで操作を止めます。セキュリティをスタートした時、設定したモードで作動します。

※セキュリティ作動中に再度モード設定を変更してリモコンでスタートした場合（追加リモコン含む）は変更したモードで作動します。

- ・リモコンでモード設定変更後、変更したリモコンでX2000をスタートにより変更したモードが作動（スタート）します。
- ・リモコン音の設定で操作音は違います。

◆リモコン音の設定

●リモコンのアンサーバック音を無音、アラーム音、メロディ音に変更することができます。

1 リモコンの (▶) ボタンを音がするまで長押しします。

2 操作 **1** をくり返すと表示が変わり（音も変わります）設定したい項目で操作を止めます。

◇順番に表示が変わります

設定	リモコン設定音	待ち受け画面表示
無音	ピッ	OFF
アラーム音	ピッピッ	
メロディ音	ドレミレド	

※画面表示は設定により日本語、英語になります。

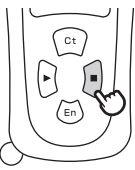
※リモコン操作音は変わりません。

リモコンについて

◆リモコン表示の設定

- リモコンの表示文字を日本語、英語に変更することができます。

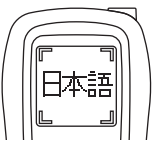
1 リモコンの (■) ボタンを液晶表示画面に文字が表示するまで長押しします。



2 操作**1**をくり返すと表示が変わり（音も変わります）設定したい項目で操作を止めます。

◇順番に表示が変わります

設定	リモコン音	待ち受け画面表示
日本語表示	ピッ	あ
English Screen (英語表示)	ピッピッ	A

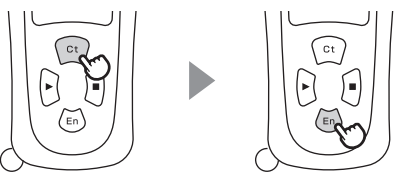


※リモコン音の設定で操作音は違います。

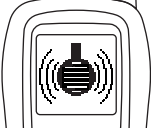
◆パニックアラーム機能

- 車に不審者が近付いた時などにアラーム音をメインユニットから30秒鳴らすことができます。


1 リモコンの (Ct) ボタンを押し、待ち受け画面表示中に (En) ボタンを押します。



2 電波が届いてパニックアラームが作動するとリモコン液晶表示が緑色でイラスト表示されます。電波が届かなかった場合は液晶表示が赤色で“NG!”と表示されます。



パニックアラームが作動した時



電波が届かなく作動しなかった時

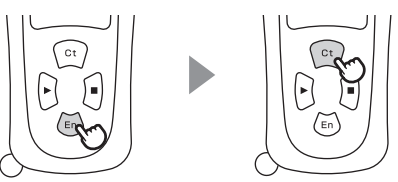
※パニックアラーム警報を止めたい時は、リモコンでセキュリティストップ操作 (P12) を行って下さい。

※リモコン音の設定で操作音アンサーバック音は違います。
・画面表示文字は設定により日本語、英語になります。

◆履歴表示

- リモコンに警報があった時、何の警報だったかリモコンで確認ができます。

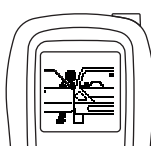
1 リモコンの (En) ボタンを押し、待ち受け画面表示中に (Ct) ボタンを押します。



2 リモコンに何の警報があったか履歴（最後にあった警報）を表示します。

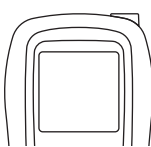
例：人感センサー検出時

・履歴があった場合



・イラストを表示し文字を表示します

・履歴がなかった場合



・何も表示はしません

※リモコンでセキュリティをスタートすると履歴がリセットされます。

※警報が続けてあった場合は新しい警報の履歴が表示され前の履歴は消失します。
・リモコン音の設定で操作音は違います。
・画面表示文字は設定により日本語、英語になります。

リモコンについて

◆エンジンスターターへのID登録

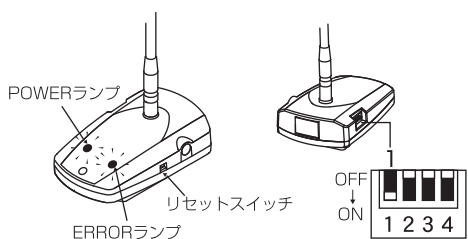
※BeTimeエンジンスターター対応機種 (A-73/74/75)のみ操作可能です。

- BeTimeエンジンスターター（対応機種）にX2000のリモコンを登録することによりX2000のリモコンでエンジンスタート/ストップが可能になります。
※BeTimeに登録できるX2000のリモコンは1個だけです。

●必ずはじめにBeTimeにX2000のリモコンを登録します。

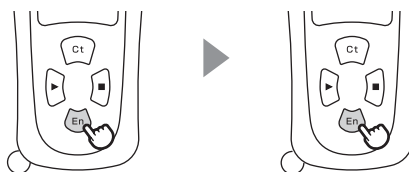
※エンジンスターター機能を使用する前に必ず下記操作を行って下さい。

- ① 各BeTime取扱説明書を参照にリモコンのID登録又は追加登録の状態にします。

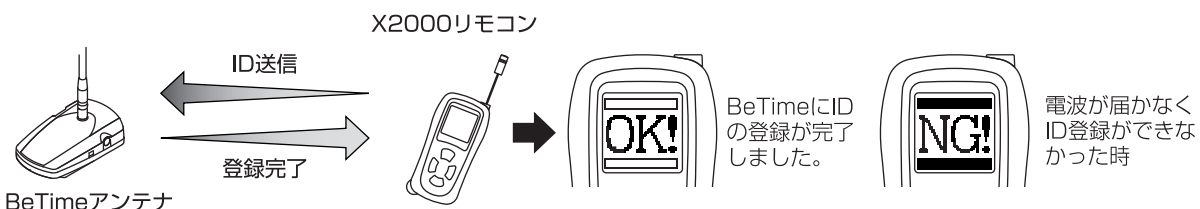


・BeTime A-74の場合
アンテナファンクションスイッチをON（リモコン追加）にしてリセットスイッチを押しPOWERランプとERRORランプを点灯させます。

- ② リモコンの（En）ボタンを押し、待ち受け画面表示中にもう一度（En）ボタンを押しBeTimeにX2000のリモコンを登録します。

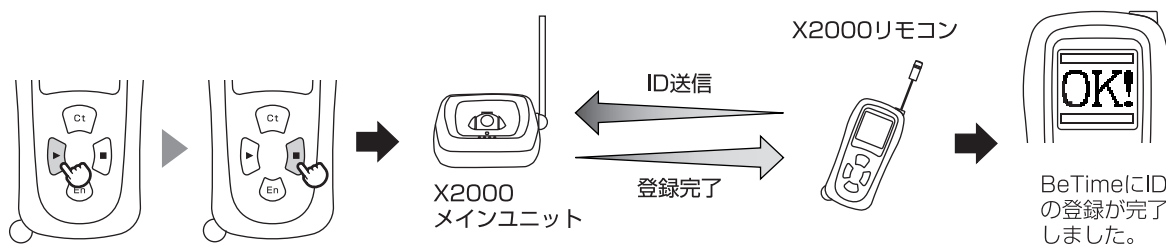


- ③ 電波がBeTimeに届いてID登録が完了するとリモコン液晶表示が緑色で”OK!”表示されます。電波が届かなかった場合は液晶表示が赤色で”NG!”と表示されます。



※登録完了後BeTimeに追加登録した場合はファンクションスイッチを登録する前の状態にもどして下さい。
・リモコンに【NG】が出た場合は再度①からやり直して下さい。

- ④ BeTimeにX2000のリモコン登録完了後、X2000のメインユニットにID登録が必要になります。P19のIDコード登録方法③で『2つ目（追加リモコン）』の操作でID登録を行ってください。



※リモコンに【NG】が出た場合は再度①からやり直して下さい。

※リモコン音の設定で操作音アンサーバック音は違います又、画面表示文字は設定により日本語、英語になります。

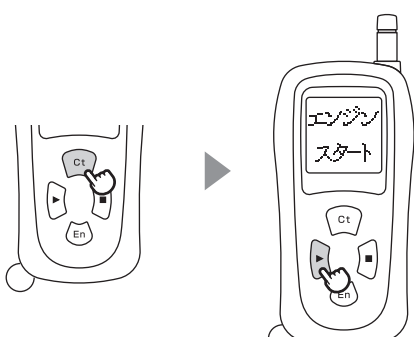



リモコンについて

◆エンジンスターターのスタート/ストップ

※BeTimeエンジンスターター対応機種(A-73/74/75)のみ操作可能です。

●必ずはじめにBeTimeにX2000のリモコンを登録します。(P15)

○X2000リモコンのBeTimeエンジンスターター

<p>1 リモコンの (Ct) ボタンを押し、待ち受け画面表示中に (▶) ボタンを押します。</p> 	<p>2 電波がBeTimeに届いてエンジンスターター動作するとリモコン液晶表示が緑色で "OK!" 表示されます。電波が届かなかった場合は液晶表示が赤色で "NG!" と表示されます。</p>  <p>エンジンスターターが作動を始めます。</p>  <p>※BeTimeの機種によってエンジンが始動すると "OK!" 表示の後、数十秒後に "エンジン始動中" と表示されます。</p>  <p>電波が届かなく作動しなかった時</p>
--	---

- ※リモコンに "OK!" 表示がされたのにエンジンが始動していなかった時はBeTime取扱説明書を参照してBeTimeの配線を確認して下さい。
- ・エンジン始動後、X2000のリモコンでエンジンスターター動作を再度すると "エンジン始動中" と表示されエンジン始動の確認ができます。
 - ・X2000のリモコンでエンジン始動した時、操作してから約15秒間はX2000のリモコンを操作してもBeTimeと電波で送受信している為、リモコン操作によるアンサーバックが正しく返信されない場合があります。

○X2000リモコンのBeTimeエンジンストップ

<p>1 リモコンの (Ct) ボタンを押し、待ち受け画面表示中に (■) ボタンを押します。</p> 	<p>2 電波がBeTimeに届いてエンジンストップ動作するとリモコン液晶表示が緑色で "OK!" 表示されます。電波が届かなかった場合は液晶表示が赤色で "NG!" と表示されます。</p>  <p>エンジンが停止します。</p>  <p>電波が届かなく作動しなかった時</p>
--	---

- ※上記操作はBeTimeのアンテナユニットで電波の送受信を行う為、BeTimeのアンテナユニットの取付位置により電波の届く範囲はX2000のスタート/ストップなどの動作範囲と異なります。
- ・セキュリティ作動中にリモコンでエンジンスターターした時は、X2000のキャンセルタイマー機能が作動し警報を行いません。(車輛シガープラグに付属シガーコードを接続した状態)
 - ・リモコン音の設定で操作音アンサーバック音は違います又、画面表示文字は設定により日本語、英語になります。

リモコンについて

◆ドアロック/アンロック

※BeTimeエンジンスターター対応機種(A-73/74/75)のみ操作可能です。

●必ずはじめにBeTimeにX2000のリモコンを登録します。(P15)


※X2000のリモコンをBeTime対応機種(A-73/74/75)に登録することによりドアロック/アンロック機能が使用することができます。

- ・ドアロック/アンロック作動はBeTime側で行う為、BeTime側のドアロック配線が必要になります。(詳しくは、各BeTime取扱説明書を参照してください。)

○ドアロック ※リモコンのアンテナを伸ばした状態で操作してください

<p>1 リモコンの(▶)ボタンを押し、待ち受け画面表示したら、もう一度(▶)ボタンを押します。</p> 	<p>2 電波が届いてドアロックするとリモコン液晶表示が緑色で"OK!"と表示されます。電波が届かなかった場合は液晶表示が赤色で"NG!"と表示されます。</p> 
--	---

○ドアアンロック ※リモコンのアンテナを伸ばした状態で操作してください

<p>1 リモコンの(■)ボタンを押し、待ち受け画面表示したら、もう一度(■)ボタンを押します。</p> 	<p>2 電波が届いてドアアンロックするとリモコン液晶表示が緑色で"OK!"と表示されます。電波が届かなかった場合は液晶表示が赤色で"NG!"と表示されます。</p> 
---	---

※上記操作はBeTimeのアンテナユニットで電波の送受信を行なう為、BeTimeのアンテナユニットの取付位置により電波の届く範囲はX2000の動作範囲と異なります。

- ・車に乗り込む時などドアを開ける場合は、セキュリティを解除(ストップ)してからドアアンロック操作を先に行ってください。センサーが作動し警報を行います。
- ・車を降りる時などドアを閉める場合は、先にドアロック操作をしてからセキュリティを作動(スタート)してください。センサーが作動し警報を行います。
- ・リモコン音の設定で操作音アンサーバック音は違います。

警報について

◆メインユニットの警報

※キャンセルタイマー（P22）作動中やエンジンスターター作動中の場合など（シガーコード接続時）は警報は行いません。

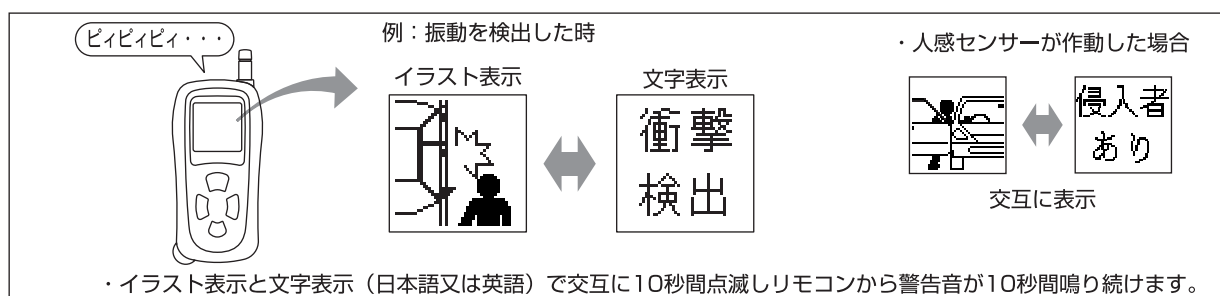
- 作動中に車のボディや窓を叩かれた時や、車内に人の侵入を検出したら本体の内蔵スピーカーで警報を鳴らします。

センサー	センサーが検出する時	メインユニットの警報音
振動センサー	車の窓やボディに衝撃を検出した時	アラーム音で約5秒
人感センサー	車のドアを開けられ人の侵入を検出した時	アラーム音で約30秒

- ※警報中はメインユニットのLEDランプが4個同時点滅します。
- ・オプションの警報は各オプションにより違います。
- ・振動センサーが検出して警報中に人感センサーを検出した時は、警報は切り替わり人感センサーの警報を行います。

◆リモコンの警報

- 作動中（監視中）メインユニットが信号を検出するとアンサーバックによりリモコンで音と文字、イラストでお知らせします。



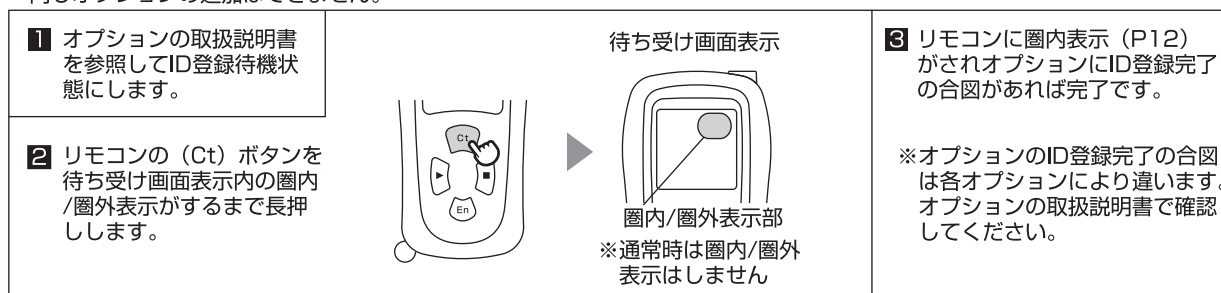
- ※リモコン警報音、警報時間はリモコン音の設定（P13）によって変わります。（アラーム音設定時約10秒、メロディ設定時約7秒）
- ・衝撃警報中でも人感センサーが検出するとリモコン警報は切り替わります。
- ・リモコン音の設定（P13）を無音にすると警報音は鳴りません。
- ・リモコンのアンテナを伸ばすことにより電波の飛びが変化しますのでセキュリティ作動中はできるだけアンテナを伸ばした状態にしてください。

オプション（受信タイプ）へのID登録

- オプション（受信タイプ）を使用する時にX2000のIDをリモコンからオプションに登録します。

※オプションの受信タイプ、送信タイプは各オプションの取扱説明書を参照してください。

- ・同じオプションの追加はできません。



※オプションにより設定が必要な場合があります。使用前に設定をしてからお使い下さい。

- ・電波の届く範囲（圏内表示）で登録を行ってください。
- ・ID登録時、リモコンに圏外表示する時は、オプション取扱説明書を参照してもう一度登録を行ってください。

リモコンの登録とオプション(送信タイプ)の登録

SS-061「ワイヤレスランプセンサー」

◆メインユニットへのID登録 (追加リモコン/オプション 送信タイプ)

SS-061「ワイヤレスランプセンサー」

※リモコン/追加リモコン/オプションのIDを本体に登録します。
※同じオプションの追加はできません。

●IDコードとは

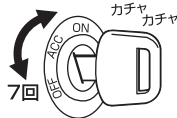
リモコンはそれぞれ重複しないように「IDコード」が設定されておりメインユニットの「IDコード」と一致しなければ、本製品を始動させる事ができないようになっております。

●本製品は付属のリモコンとは別に2個のリモコンが追加できます。(全部で3個までのリモコンが使用できるようになります。)

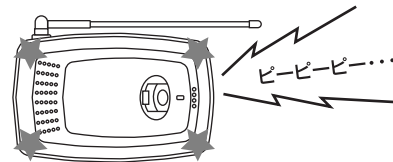
必ず12V専用シガープラグコードを車のシガーソケットに差し込んだ状態で登録操作を行なってください。

●IDコードの登録方法(本製品停止状態から操作してください)

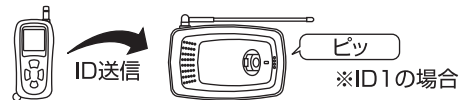
1 イグニッションキーをOFFの位置からACCの位置まで回し、OFFの位置まで戻します。この動作を7回行います。(10秒以内で行って下さい)※メインユニット充電ランプが連動して7回点滅します。



2 メインユニットから「ピーピーピー…」とブザーが鳴ります。



3 リモコン又はオプションからIDを送信します。



●リモコン/追加リモコンを登録する場合

ブザーが鳴っている間に登録するリモコンのスイッチを押す。

- ・1つ目(付属のリモコン)を登録する時は(En)ボタンを押し、待ち受け画面表示中にもう一度(En)ボタンを押します。IDが登録されると「ピッ」とメインユニットからブザーが1回鳴ります。
- ・2つ目(追加リモコン)を登録する時は(▶)ボタンを押し、待ち受け画面表示中に(■)ボタンを押します。IDが登録されると「ピッ ピッ」とメインユニットからブザーが2回鳴ります。
- ・3つ目(追加リモコン)を登録する時は(■)ボタンを押し、待ち受け画面表示中に(▶)ボタンを押します。IDが登録されると「ピッ ピッ ピッ」とメインユニットからブザーが3回鳴ります。

●オプション(送信タイプ)を登録する場合

ブザーが鳴りはじめてから10秒以内にオプションからIDを送信します。IDが登録されると「ピッ ピッ ピッ ピッ」とメインユニットからブザーが4回鳴ります。

※BeTimeに付属のX2000リモコンを登録をした場合は、X2000のメインユニットに付属リモコンを再度2つ目、3つ目(追加リモコン)の操作で登録してください。

4 上記 **3** のようにブザーが鳴れば完了です。

- ・続けて追加リモコン/オプション登録する場合はID登録完了後、少し時間(2~3分)をおいてから **1** 又は **1** から操作を行います。
- ・メインユニットからブザーが鳴らない場合は再度、少し時間(2~3分)をおいて **1** 又は **1** から操作して下さい。

○イグニッションキーをOFFにしても車のシガープラグの電源がなくなる場合の登録方法(一部の外車など)

1 本製品停止状態からシガープラグを抜いて、車のエンジンをかけます。シガープラグを車のシガーソケットに差し込んで、抜いての動作を7回行います。最後に抜いた状態にしてください。

2 上記 **2** の操作から行ってください。

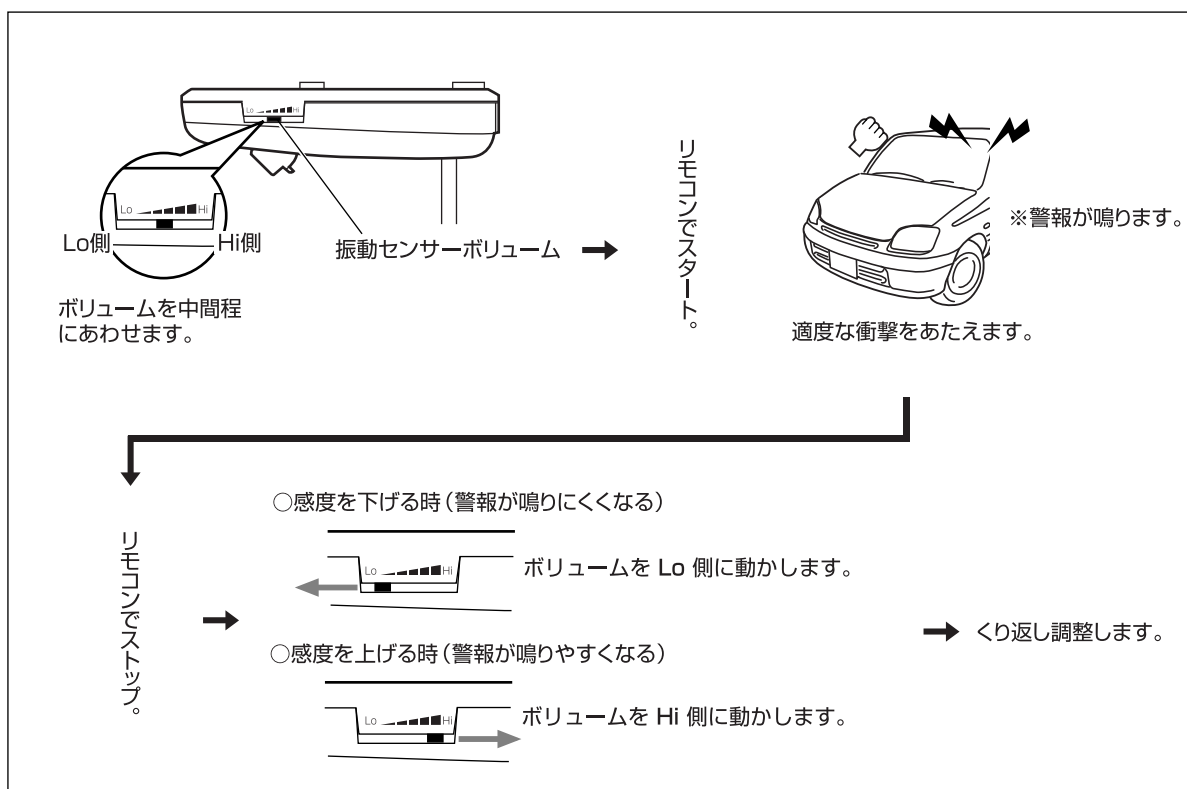
※シガープラグをあまり抜き差しすると車が破損(傷など)する恐れがあります。注意して登録を行ってください。

- ・車輛シガープラグの抜き差しの代わりにX2000メインユニット側、電源ジャックでのシガーコードの抜き差しでもID登録は行えます。
- ・メインユニットのバッテリー残量がないと登録できません。充電してから行ってください。(P22参照)
- ・IDコードの登録作業は10秒以内で行ってください。10秒以上かかるとID登録モードが解除されます。(再度IDコードを登録する時は**1**又は**1**からIDコードの登録をしてください。)
- ・IDコードは何度でも書き換えができます。(同じ操作で新しいIDコードを書き込むと、前回登録したIDコードは消去されます。)
- ・車輛のバッテリー交換や本製品の電源を外したり、車輛ノイズなどによりリモコンのIDコードが消失する場合があります。その時はIDの再登録をしてください。

振動センサーの調整

●車輻への衝撃を検出し、警報を行う為の振動センサーの感度を設定します。

- 1 振動センサーボリュームを中間の位置にあわせませす。
- 2 車輻エンジンを切り、全てのドアを閉じます。
※駐車状態にします。
- 3 本製品をリモコンでスタートします。 ※モード設定 (P13) はスタンダードモードで行ってください。
- 4 キャンセルタイマー作動時、メインユニットユニットのLEDが全点滅します。
※スタート後、キャンセルタイマー作動時は警報を行いません。
- 5 フラッシャーが全点滅から表示が変わった後 (監視状態) 車外から車輻に振動をあたえます。
- 6 適度な振動で、警報が行われる様に振動センサーボリュームを調整します。
※感度が弱い場合は振動センサーボリュームをアンテナ側へ、強い場合は正面側へ少しずつ調整を行ってください。
必ずリモコンで本製品をストップ (P12) してから、振動センサーボリュームの調整を行ってください。



- ※車輻のボディサイズ・車体のボディの構造・取付け位置・振動を与える場所などによって振動センサーの感度は大きく影響します。また感度を高めに設定した場合、雷、花火、改造車のマフラー音、大型車輻などの走行時の強い揺れ等を振動センサーが反応してしまう場合がありますのでご注意ください。
- ・ 振動をあたえて警報が鳴った後すぐに振動をあたえても約2秒間はセンサーは反応しません。警報が鳴っている間はセンサーは作動しません。
 - ・ センサーの調整で車輻に振動をあたえるのにボディのへこみ等に注意して下さい。
 - ・ 調整ボリュームは力を入れて動かすとボリューム又はユニットが破損する恐れがありますので注意してください。

人感センサーの調整

●車輻への人の侵入を検出し、警報を行う為の人感センサーの調整をします。

1 車輻エンジンを切り、全てのドアを閉じます。

※駐車状態にします。

2 本製品をリモコンでスタートします。 ※モード設定(P13)はシティモードで行ってください。

3 キャンセルタイマー作動時、アンテナユニットのLEDが全点滅します。

※スタート後、キャンセルタイマー作動時は警報を行いません。

4 フラッシャーが全点滅から表示が変わった後(監視状態)車外からドアを開け車に乗り込みます。

5 車に乗り込んで、警報が行われる様に調整します。

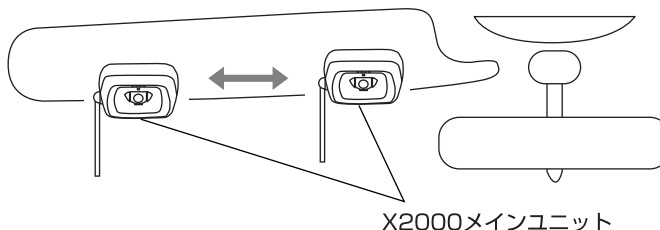
※警報が鳴らない時はセンサー検出のできる範囲でない為、メインユニットを動かしたり、調節レバーを切り替えてください。

又、車内で反射物(鏡など)でX2000の人感センサーに光りが当たると警報を行いますのでX2000に直接光りなどが当たらないようにしてください。

●警報が鳴らない時はメインユニットの位置の変更や調整レバーを切り替えてセンサーの角度を変えて下さい。

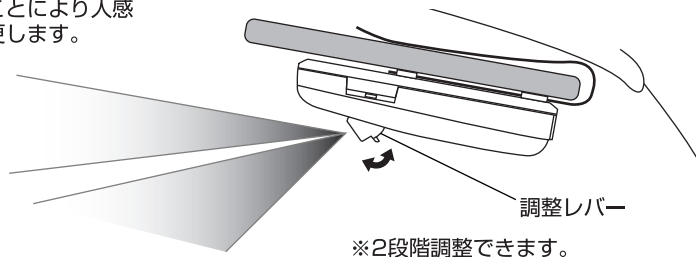
○メインユニットの位置変更による調整

・メインユニットを動かして人感センサーの検出範囲を変更します。



○調整レバーによる調整

・調整レバーを切り替えることにより人感センサーの検出範囲を変更します。



注.車種によってはサンバイザーの角度が垂直に近い状態の場合があります。その場合、人感センサーの検出範囲が車輻の天井側に集中する為、セキュリティを作動させる時はサンバイザーを少し下げてから作動するようにしてください。

※車種によってはサンバイザーが薄い場合メインユニットがずれたり、落ちたりしますので動かさないように両面テープなどで固定してください。

・人感センサーは車内のみ検出可能なセンサーです。又シート等も障害物になりセンサーの死角になります。

・人感センサーには検出範囲がありますので車の形状、大きさによっては人感センサーが作動しない場合があります。

・必ず車のドアや窓ガラス、サンルーフなどを閉め切ってお使いください。

・X2000作動中に車内で電気製品(モニター、冷蔵庫、など)を作動させると人感センサーが作動し警報を鳴らしますので使用しないでください。

・車内温度が変化しやすい物を車内に置いてX2000を使用しないでください。

その他の機能

◆メインユニットの充電と充電ランプについて

●X2000は車のアクセサリ電源を利用してメインユニットにエンジン始動中に充電を行いエンジン停止後メインユニットの電池で作動します。

※はじめてお使いになる時は、メインユニット用電池を取付けて、車のエンジンをかけた状態で充電してから使用して下さい。メインユニットの電池がない状態ではX2000は作動しません。又、車での充電が困難な場合はオプションで家庭用コンセントから充電可能なSS-065「AC100V専用充電器」を使用して下さい。

ランプの状態	充電電池の状態	
消灯	充電完了 満充電	エンジン始動中に充電を行い満充電になって充電が完了した状態です。 ※最低でも4時間連続の充電をしないとランプは消灯しません。
点滅	充電不足	メインユニットの充電が不足した時に点滅します。この状態でX2000を作動させると作動しなかったり作動中でも充電電池が空になり途中でセキュリティが停止する場合があります。
点灯	充電中	エンジン始動中にアクセサリ電源を利用してメインユニットに充電をしています。

注意.エンジン停止しても車輛のシガープラグの電圧が0Vにならない車輛があります。その車輛の場合はエンジンを停止してもメインユニットの充電を行う為、車輛バッテリーが上がる可能性がありますので車輛エンジン停止後は必ず車輛シガープラグからシガーコードを抜いて下さい。

- ※短い充電を繰り返して使用している場合（運転時間が短い等）メインユニットが充電不足で作動しなくなる場合があります。その場合は充電をすみやかに行って下さい。
- ・メインユニットが充電不足になるとメインユニットから「カチカチ・・・」と音が出ますが異常ではありません。充電をすると音は消えます。
- ・充電はアクセサリ電源で行いますのでシガープラグは常時シガーライターソケットに接続しておいて下さい。電池が空の状態であれば約4時間でフル充電できます。フル充電で約7日（無警報状態）連続監視が可能です。
- ・充電不足表示をしてもX2000はスタート（作動）できることがあります。メインユニット監視中に電池容量がなくなるとX2000がストップ（停止）します。
- ・電池は、ニッケル水素電池を使用しています。充電を行っても作動しない等の状態が頻繁におこるようであれば電池の寿命が考えられます。お近くの商品取扱いの販売店でお買い求め、電池交換して下さい。また、交換した電池はリサイクル可能なニッケル水素電池ですので、販売店にお渡しください。ご不明な点がございましたら、弊社サービス部までお問い合わせ下さい。

◆キャンセルタイマーについて

●キャンセルタイマーとは・・・セキュリティをスタート（作動）又はエンジンスターターなどでエンジン停止後、電装品が動作しても30秒以内であればセンサーは作動せず警報を行いません。

※キャンセルタイマー作動中はメインユニットのLEDランプは全て点滅します。

◆メインユニットLEDランプについて

●メインユニットLEDランプの点灯/点滅によってX2000の作動状態が確認できます。



LED表示	確認内容
4個同時点滅	キャンセルタイマー作動中・警報中
1個づつ周りながら点滅	監視中（作動中）
ボリューム側2個点滅	メインユニットに電波受信
アンテナ側2個点滅	メインユニットから電波送信
4個同時点灯	メインユニットのID消失（P19）

※LED表示が少し止まって表示する場合がありますが送受信の電波を確認してる為で異常ではありません。

その他の機能

◆セキュリティの強制スタート/ストップ

- リモコンを破損・紛失した場合などリモコンで本製品をスタート/ストップできない場合に本製品をスタート/ストップできます。

注意!リモコンの破損・紛失した場合などリモコンが操作できない時にだけ操作を行ってください。誤動作の原因になります。

- ◆必ず12V専用シガープラグコードを車のシガーソケットに差し込んだ状態で操作を行ってください。

- ◆ターボタイマーを使用しているとイグニッションキー操作ができませんので必ずターボタイマーをOFFにしてからイグニッションキー操作をしてください。

- セキュリティのスタート(本製品が停止している状態から操作を行います)

- 1 イグニッションキーをOFFの位置からACCの位置まで回し、OFFの位置まで戻します。
この動作を6回行います。(10秒以内に行ってください)
- 2 上記操作開始から約10秒後にメインユニットからアラーム音が鳴りキャンセルタイマーが作動し本製品がスタート(始動)します。

- イグニッションキーをOFFにしても車のシガープラグの電源がなくなる場合の登録方法(一部の外車など)

- 1 本製品停止状態からシガープラグを抜いて、車のエンジンをかけます。シガープラグを車のシガーソケットに差し込んで、抜いて、この動作を6回行います。(10秒以内に行ってください) ※最後に抜いた状態になります。
- 2 車のエンジンを止めます。
- 3 上記操作開始から約10秒後にメインユニットからアラーム音が鳴りキャンセルタイマーが作動し本製品がスタート(始動)します。

注.X2000を強制スタート(監視状態)にした時はリモコンでセキュリティをスタート操作し、リモコン待ち受け画面に(0m)セキュリティ作動状態表示をしない限りリモコンでの警報は行いません。

※シガープラグをあまり抜き差しすると車が破損(傷など)する恐れがあります。注意して行ってください。

・メインユニットのバッテリー残量がないとセキュリティ強制スタートはできません。充電してから行ってください。

- セキュリティのストップ(本製品が作動している状態から操作を行います)

- 1 イグニッションキーをOFFの位置からACCの位置まで回し、OFFの位置まで戻します。
この動作を5回行います。(10秒以内に行ってください)
- 2 上記操作終了後メインユニットからアラーム音が鳴り本製品がストップ(停止)します。

- イグニッションキーをOFFにしても車のシガープラグの電源がなくなる場合の登録方法(一部の外車など)

- 1 本製品作動状態からシガープラグを抜いて、車のエンジンをかけます。シガープラグを車のシガーソケットに差し込んで、抜いて、この動作を5回行います。(10秒以内に行ってください) ※最後に抜いた状態になります。
- 2 上記操作終了後メインユニットからアラーム音が鳴り本製品がストップ(停止)します。

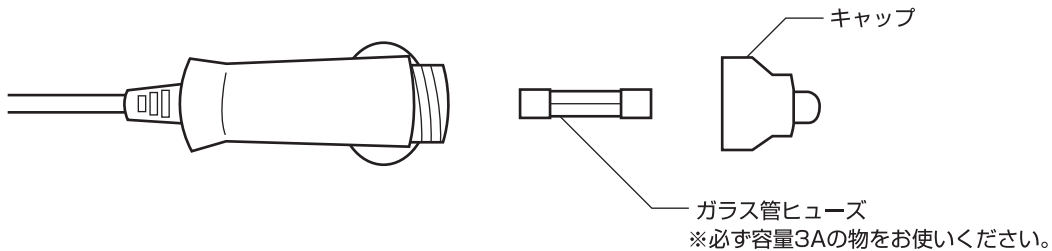
※シガープラグをあまり抜き差しすると車が破損(傷など)する恐れがあります。注意して行ってください。

その他

◆12V専用シガープラグコードについて

- 12V専用シガープラグコードの内部にはガラス管ヒューズが使用されています。ヒューズ切れの際は指定の容量のガラス管ヒューズと交換してください。

・ヒューズの取り外しはキャップを左に回し外してください。



◆本製品修理について

- 本製品の破損・点検・故障した場合、購入した販売店又はお近くの販売店へ修理の依頼・ご相談をしてください。
 - 修理・点検依頼された場合、修理期間中は別商品の貸出し(代替品)などのサービスは行っておりません。
 - 修理・点検期間中又は故障などによる作動不良時における車輛盗難、車上狙い、車輛へのイタズラ等が発生しても、弊社では一切の責任は負いかねます。
 - リモコンを破損した場合は、販売店へ修理のご依頼・ご相談をしてください。又、修理不能(水に濡らしたなど)もしくは紛失された場合は新たにリモコンのみをご購入頂き再度ID登録を行うことで、ご使用できます。
- ※リモコンご購入時の注意：防犯上、安全の為に保証書の提示等をお願いする事があります。

◆付属のステッカーについて

- 付属のステッカーを貼る時は、運転者の視界を妨げるような場所、自動車の前面ガラスに貼らないでください。

故障かな？と思ったら

●本製品を使用中、正常に作動しない場合、点検・修理をご依頼される前に、下記表を参照してご確認ください。

症 状	確 認	対 策	ページ
リモコンでスタート/ストップしない	・正しく配線されていますか？	・シガーコードの車輛との接続を確認してください。	6・7
	・リモコンの電池が切れていませんか？	・リモコンの充電を行ってください。	9
	・メインユニットのバッテリーの残量はありますか？	・車のエンジンを始動し充電を行ってください。	22
	・シガーコードのヒューズは切れていませんか？	・ヒューズを交換してください。	24
メインユニットから警報が出力しない(振動センサー)	・モード設定がシティモードになっていませんか？	・モード設定をスタンダードモードにしてセキュリティをスタートさせて下さい。	13
	・調整ボリュームを鈍感(最小)に調整していませんか？	・調整ボリュームを敏感(最大)の方に少しずつずらし調整を行って下さい。	20
リモコンから警報が出力しない(振動センサー)	・リモコンの電源は入っていますか？	・リモコンの電源を入れて下さい。	11
	・リモコンの設定で「無音」になっていませんか？	・リモコンの設定を変更して下さい。	13
リモコンに警報のアンサーバックしない	・追加リモコン又は車の鍵でセキュリティを作動させていませんか？	・警報を鳴らしたいリモコンで再度セキュリティを作動(スタート)させてください。	11・12
警報が出力しない(人感センサー)	・人感センサーの検出範囲に人などの検出がありますか？	・メインユニットの移動や調整レバーなどで人感センサーの検出範囲を調整して下さい。	21
車のバッテリーが上がる	・エンジンを停止してもシガープラグの電圧がOVになりますか？	・エンジン停止した時はシガープラグからX2000のシガーコードを抜いて下さい。	22
警報が出力しない(全ての警報)	・キャンセルタイマー機能は作動していませんか？	・キャンセルタイマー機能(30秒)が終了するのを待って下さい。	22
	・車のエンジンが始動していませんか？	・シガープラグにX2000が接続してある場合エンジンがかかっている時は警報は行いません。	18
なにもない状態で警報が出力される	・車内に動いたりする物はありませんか？	・車内に動く物があると人感センサーが作動しますので置かないでください。	21
	・振動センサーの調整ボリュームを敏感(最大)にしていませんか？	・あまり敏感(最大)にボリュームを調整すると天候などの影響を受けやすくなりますのでボリュームを下げて使用して下さい。	20
メインユニットから「カチカチ」音がする	・メインユニットの充電不足が原因と考えられます。メインユニットの充電を行って下さい。		22
リモコンに「メモリチェック」と表示され作動しない	・リモコンのコンピューターに異常がある可能性がありますのでお手数ですが当社サービス部にご連絡ください。		

X2000 仕様

●メインユニットユニット

技術基準	RCR標準規格テレコントロール用無線設備適合
送信周波数	429.2MHZ
送信出力	10mW
電波形式	F1D
呼出名称	送信時に自動送出
周波数安定度	±4ppm以内(25℃)
周波数偏位	±2.5KHZ以内
送信時間	10.8秒以内
送信休止時間	2秒以上
受信周波数	429.2MHZ
受信感度	-118dBm以下で安定動作
送受信アンテナ	1/4λホイップアンテナ
動作温度範囲	-20℃~+70℃
定格電圧	12VDC
消費電流	待機時8mA以下(平均)
ケース寸法	83.4(W)×38.2(H) ×131.3(D)/mm(突起物除く)

●リモコン

技術基準	RCR標準規格テレコントロール用無線設備適合
送信周波数	429.2MHZ
送信出力	10mW
電波形式	F1D
呼出名称	送信時に自動送出
周波数安定度	±4ppm以内(25℃)
周波数偏位	±2.5KHZ以内
送信時間	3秒以内
送信休止時間	2秒以上
受信周波数	429.2MHZ
受信感度	-116dBm以下で安定動作
局発安定度	±4ppm以内(25℃)
送受信アンテナ	トップロードアンテナ
動作温度範囲	-20℃~+60℃
使用電池	ニッケル水素電池
ケース寸法	22.0(W)×79.0(H)突起物除く ×38.3(D)/mm

さくいん

あ

ID登録	18・19
SS-060	4
SS-061	19
SS-062	18
SS-063	2・6
SS-065	22
アンサーバックについて	8
エンジンスターターのID登録	15
エンジンスター/ストップ	16
オプション(受信タイプ)への登録	18
オプション(送信タイプ)からの登録	19

か

キャンセルタイマー	22
圏内/圏外表示	12
故障かな	25

さ

充電ランプ(メインユニット)	22
修理	24
使用上の注意	2
人感センサー	21
振動センサー調整(ボリューム)	20
スタート/ストップ(リモコン)	12
スタート/ストップ(強制)	23
ステッカー	24

た

電源のON/OFF(リモコン)	11
ドアロック/アンロック	17
盗難保険	26
特長	3

は

配線全体図	6・7
パニックアラーム	14

ま

待ち受け画面の表示内容	11
名称	4・5
メインユニットの警報	18
モード設定	13

ら

リモコンの操作一覧	10
リモコンの警報	18
リモコンの充電方法	9
リモコンの追加	19
リモコンの破損・紛失	24
履歴機能	14